

製品名: eIF4B (リン酸化Ser422) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04598**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	EIF4B
別名	EIF4B; Eukaryotic translation initiation factor 4B; eIF-4B
遺伝子 ID	3716.0
SwissProt ID	P23588
免疫原	抗血清は、Ser422 のリン酸化部位周辺のヒト eIF4B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 388-437

背景

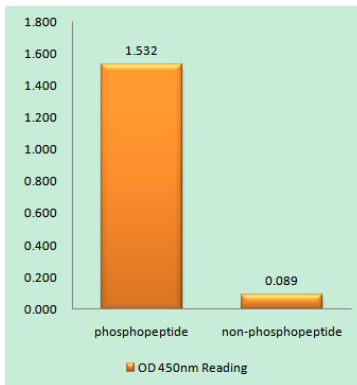
機能: mRNA のリボソームへの結合に必須。EIF4-F および EIF4-A と密接に関連して機能する。EIF-4F および ATP 存在下で mRNA

の5'末端キャップ付近に結合し、EIF4-AおよびEIF4-Fの両方のATPase活性およびATP依存性RNA巻き戻し活性を促進する。類似性: 1つのRRM (RNA認識モチーフ) ドメインを含む。サブユニット: EIF3 p170サブユニットと自己会合し、相互作用する。機能: mRNAのリボソームへの結合に必須。EIF4-FおよびEIF4-Aと密接に関連して機能する。EIF-4FおよびATP存在下でmRNAの5'末端キャップ付近に結合EIF4-AとEIF4-Fの両方のATPase活性とATP依存性RNA巻き戻し活性を促進する。類似性:1つのRRM (RNA認識モチーフ) ドメインを含む。サブユニット:EIF3 p170サブユニットと自己会合して相互作用する。、

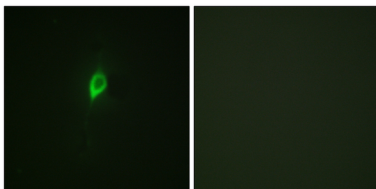
研究分野

mTOR;

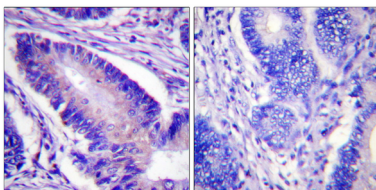
画像データ



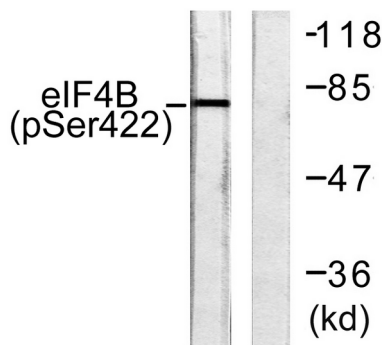
eIF4B (リン酸化 Ser422) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



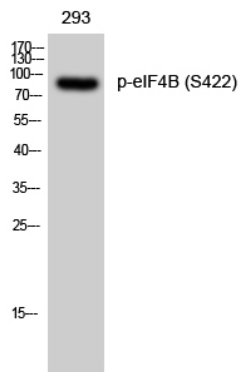
eIF4B (リン酸化 Ser422) 抗体を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



eIF4B (リン酸化 Ser422) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



NIH/3T3 細胞ライセートの eIF4B (リン酸化 Ser422) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 希釈の Phospho-eIF4B (S422) ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析